

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		公立保育所管理運営事業		課名	子育て支援課	事業No.	111
				会計	一般会計		
主要区分		主 記号		事業区分	経常	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	戦略計画	6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
		2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる				
	分野別計画	子育て応援プラン					
	法令・例規等	児童福祉法 子ども・子育て支援法 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準					
事業目的		対象	公立保育所（16園）、以上児の家庭数				
		意図	安全、安心に保育を支援なく運営する、就学までの基本的な生活や集団生活ができる保育の実施				

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
		・豊かな自然や地域資源を活用する「いいだ型自然保育」に取り組みました。また、安全安心の保育環境を整え、パート保育士や保育補助員を雇用し、乳児未満児保育や長時間保育のサービス提供に努めました。 ・子育て移住定住の推進を図るため、和田保育園のいいだ型自然保育のPR動画及び遠山郷2園（上村・和田保育園）の自然保育PR冊子を作成しました。 ・公立保育園の全園を「保育所」から「保育所型認定こども園」へ移行しました。 ・保有する施設等の現状を把握し、適正に維持管理していくため、長寿命化計画の策定に着手しました。	会計年度任用職員（保育士、保育補助員、調理員）				302,199
		園舎土地・駐車場借り上げ				7,872	
		施設設備等修繕・工事費				42,074	
		長寿命化計画策定調査業務				5,484	
		園舎維持管理等運営経費				27,317	
		保育所保育費				111,791	
		地域活動事業費				936	
		子育て移住促進事業				2,608	
		一日保育体験事業				2	
		その他の経費				0	

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	保育士を目指す保育補助員の雇用	人	6	6						
	一日保育体験者数	人	500	351						
	地域活動事業（地域住民との交流）園数	園	16	16						
	地元食材の日開催数	回/年	200	200						
	地元食材の利用率	%	48	43.9						
	子育て世代の移住定住	世帯	1	1						

3年度決算(千円)	予算額		特定財源内訳及び補正事項								
		604,134									
		決算額	500,283	(国) 保育対策総合支援事業補助金（1/2）3,280千円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（10/10）4,300千円							
	財源の状況	国庫支出金	7,580	(そ) 公立保育所保護者負担金（現年度分・過年度分）36,187千円、公立保育所長時間延長保育事業・一時預かり事業保護者負担金 1,059千円、公立保育所負担金（他市町村分）3,100千円、給食実費徴収金（保育所）35,202千円、連携施設受託収入 1,427千円、ふるさと寄附金 10,000千円、その他 495千円							
		県支出金	0								
地方債		0									
その他		87,470									
	一般財源	405,233									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	6	1	3	358,225	302,199	会計年度任用職員人件費
2	1	3	2	6	10	1	42,996	40,717	保育所管理費
3	1	3	2	6	10	3	73,321	42,030	公立保育所施設整備事業費
4	1	3	2	6	11	1	125,098	111,791	保育所保育費
5	1	3	2	6	13	1	1,567	936	地域活動事業費
6	1	3	2	6	13	2	2,827	2,608	子育て移住促進事業費
7	1	3	2	6	13	3	100	2	一日保育体験事業費

振り返り課題認識	・引き続き、就学までの基本的な生活や集団生活ができる保育の実施に努めるとともに、地域の方々からのサポートを受けながら食農体験等を行う「いいだ型自然保育」の発信が必要です。 ・園舎の老朽化により計画的な施設整備を行っていく必要があります。
上記の課題解決のための有効策	・動画配信などSNSを活用することで、自然の中で子育てをしたいと考える子育て世代の移住定住に繋がるものと考えます。 ・限られた予算の中で、施設の状況を考慮した計画的な施設整備が必要です。
次年度に向けての取り組み	・庁内関係課と連携し、遠山地区の園存続に向けた取り組みを進めます。 ・安全安心な保育環境を整えるために長寿命化計画に沿って、計画的に改修を進めます。